



白砂青松の地で

表現活動の発表の場に！

学習活動の目的意識や相手意識をしっかり持たせるために、掲示板や廊下のスペース等に、子供たちの作品や学習物を展示しています。図工や生活科、書写など、全校児童の学習の足跡が常設的に展示されています。鑑賞の視点からもよい学びのサイクルと言えるものです。また、特別活動面（各委員会や児童会）のお知らせ、そして担当教諭の時季に応じた掲示物が、学校環境を盛り上げています。



来週から「かづさっ子の心を見つめる教育週間」です。来校の折に保護者、地域の皆さまに環境面にも目を向けていただきたいものです。お子様とのよい話題にもなると考えています。



1年生運動会振り返り



図書委員会掲示



6年生図工作品

加津佐小学校には、『林田さんの紙粘土作品』と『加津佐フォトクラブの写真』も、それぞれ毎月、隔月に新しい作品を展示してくださっています。どれも見事な作品で心豊かにしてくれるものばかりです。それから用務員が丁寧に世話をしている中央玄関の花壇・プランターにも目を向けていただければと思います。



かづさっ子の心を見つめる教育週間（6/15～21）

15日（日）のPTA球技大会で、まずは保護者同士の楽しい親睦の時間としていただくのを皮切りに、20日（金）の授業参観・学年部会までの一週間、学校教育活動を公開します。自由参観のこの機会に、子供たちの学ぶ姿をご覧いただければと思います。



公開時間や主な活動予定、注意事項については、安心メール（5/27送信分）でお知らせしています。多くの保護者（ご家族）・地域の皆さまのご来校をお待ちしています。

大雨・非常変災に備えて



梅雨入りが発表され、天気予報には傘マークが目立ちます。体調を崩しやすい時期、そして傘を差しての歩行（登下校も）等、注意をすることが出てきます。学校でも指導はしますが、ご家庭でも声かけをお願いします。

さて、今年は未だに台風のニュースが聞かれませんが、しかしながら、警報級の大雨や暴風、線状降水帯予測などの予報はそんなに遠くないことと思っています。近年は規模の大きさも心配されるところです。

下図は気象庁が出している、防災気象情報と警戒レベルとの対応を表したものです。

命を守る行動は何よりも優先しないといけないので、自治体が発令する警戒レベル「3」から、登下校に関わる判断と家庭への連絡（安心メール）をします。近隣学校との連絡を行い、できるだけ早い連絡に努めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

警戒レベル「3」 : ①安全に留意して登下校 ②自宅待機（土砂崩れの恐れの場合等）
警戒レベル「4」以上 : 臨時休業（自宅待機）

※警報の解除の時刻で、対応連絡をする場合もあります。

※登校後に天候が急変した場合には、お迎えをお願いすることもあります。

※大雨等による対応とは別に、緊急を要する事態（地震・不審者情報）が生じた場合は、状況により、お迎え・引き渡しをお願いすることがあります。よろしくお願いします。

気象状況	気象庁等の情報	市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する。	5
	大雨特別警報	避難発生情報		
	土砂災害警戒情報	危険	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
	高潮警報	危険		
	高潮特別警報	危険		
大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報	警戒	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
	洪水警報	警戒		
	※高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	注意		
大雨の半日～数時間前	大雨注意報	注意	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
	洪水注意報	注意		
大雨の数日～約1日前	早期注意情報 (警報級の可能性)	注意	災害への心構えを高める	1
		第1次防災体制 (連絡要員を配置)		
		第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)		
		第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)		
		避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)		
		高齢者等避難		

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成